

様式1 (記載例)

愛玩動物看護師養成所指定申請書  
(法第31条第2号関係)

1 名称	霞が関動物看護専門学校 動物看護学科愛玩動物看護師コース				4 連絡者				
2 位置	東京都千代田区霞が関×-×-×				氏名	〇〇 ◇◇			
3 設置者 ※法人にあっては名称及び主たる事務所の所在地	氏名	学校法人 霞が関学園			役職名	事務局長			
	住所	東京都千代田区霞が関×-×-×			TEL	XX-XXXX-XXXX			
					FAX	XX-XXXX-XXXX			
	E-mail	xxxxxxx@xxx.xx.jp							
養成所長氏名	校長 〇〇 △△								
5 設置年月日	設置年月日：令和4年4月1日 授業開始：令和4年4月								
6 種類等	愛玩動物看護師養成所		法第31条第2号3年課程			1学年定員40名			
7 教員 ※1 専任教員、兼任教員とも明示すること ※2 適宜行を追加すること	免許の種類等	氏名	年齢	担当予定科目	免許番号等	免許取得年月等	本人の承諾書	所属長の承諾書	専任兼任の別
		〇〇◆◆	41	生命倫理・福祉等			有	—	専任
	獣医師	〇〇□□	51	動物内科看護学等	00000	平成12年4月	有	有	兼任
							有・無	有・無	
8 建物	土地面積	〇m <sup>2</sup>		建物面積	〇m <sup>2</sup>				
	室の名称	面積 (m <sup>2</sup> )	室の名称	面積 (m <sup>2</sup> )	室の名称	面積 (m <sup>2</sup> )			
	講義室A	〇m <sup>2</sup>	実習室A	〇m <sup>2</sup>	図書室	〇m <sup>2</sup>			
	講義室B	〇m <sup>2</sup>	実習室B	〇m <sup>2</sup>	学生指導室	〇m <sup>2</sup>			
	講義室C	〇m <sup>2</sup>	実習室C	〇m <sup>2</sup>					
9 臨床実習施設	実習施設の名称	位置			1回受入人数	1回受入時間数	年間受入回数	年間受入時間数	
	〇〇動物病院	東京都〇〇区〇〇×-×-×			2名	30時間	6回	180時間	
	××動物病院	東京都千代田区霞が関×-×-× (養成所附属動物病院)			40名	6時間	30回	180時間	
10 整備に関する経費	区分	整備方法			金額				
	土地	設置者所有・寄付・買収・その他			0千円				
	建物	設置者所有・新築・買収・その他			〇千円				
	設備				〇千円				
	合計				〇千円				

(記入上の注意)

- ・「7 教員」のうち、免許の種類等については、獣医師である場合には「獣医師」と、愛玩動物看護師である場合には「愛玩動物看護師」と記入し、同等以上の学識経験を有する者については記入しないこと。
- ・「9 臨床実習施設」については、開設者の承諾を得たもののみ記入すること。ただし、指定申請の際に承諾書の取得が困難な場合は、実習を予定している施設名を記入し、遅くとも実習を開始する3か月前までに同意書を提出すること。
- ・「10 整備に関する事項」については、指定申請に当たって新たに土地、建物又は設備を取得する場合のみ記入すること。

### 【記載例（補足）】

- 1 「1 名称」について  
指定を受ける養成所名と合わせて学科、専攻又はコース等の名称を記載してください。
- 2 「3 養成所長氏名」について  
申請時点の学校の校長等、教育組織関連を管理する責任者を記載してください。理事長等、学校経営の責任者がこれと別に存在する場合は、学校経営の責任者ではなく、教育組織関連を管理する責任者を記載してください。
- 3 「4 連絡者」について  
都道府県から申請書に関して問合せを行う場合の連絡先(氏名、申請時点の役職、電話番号等)を記載してください。
- 4 「5 設置年月日」について  
愛玩動物看護師養成所として指定を受けようとする年月日（養成所指定規則別表等に対応した授業を全て含む学科、専攻又はコース等を開講する(した)年月日)を記載してください。また、授業開始については、養成所指定規則別表等に対応した授業を開始する年月を記載してください。
- 5 「6 種類等」について  
1学年の定員を記載してください。  
また、4年制の養成所については「法第31条第2号3年課程」を「法第31条第2号4年課程」に修正してください。
- 6 「7 教員」について  
養成所指定規則で定める科目を担当する教員を記載してください（一般教養科目など養成所指定規則に含まれない科目については、記載する必要はありません。）。  
1人の教員が担当する科目が複数ある場合は「等」として差し支えありません。「参考様式2教員（専任・兼任）に関する調書」及び「参考様式4 教員の氏名・担当科目・専任又は兼任の別」で担当する科目が明らかになるよう記載してください。  
所属長の承諾書については、養成所指定申請の際、既に当該養成所の専任又は兼任教員である場合又は無職若しくは自営の場合は、施設長の承諾書は不要としていることから、「-」を記載してください。
- 7 「8 建物」について  
愛玩動物看護師養成所に関連する建物、室の記載で差し支えなく、他の学科のみが用いる建物や室について記載する必要はありません。
- 8 「9 臨床実習施設」について  
動物看護総合実習の実習施設を記載してください。養成所に附属している動物病院の場合は、その旨記載してください。養成所に附属している動物病院で動物看護総合実習を行う場合は、実習施設の承諾書の提出は不要です。
- 9 「10 整備に関する経費」について  
該当する整備方法を□で囲んでください。

(参考様式1 (記載例))

養成所の長に関する調書

		養成所名		霞が関動物看護専門学校 動物看護学科愛玩動物看護 師コース		
氏名	〇〇 △△		現住所	東京都〇〇区〇〇△丁 目△番△号	性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男・ <input type="checkbox"/> 女
生年月日	19XX年 XX月 XX日 (〇歳)		職種			
免許 登録番号	第	号	免許登録 年月日	年 月 日		
所属 施設名	霞が関動物看護専門学校		所在地	東京都千代田区霞が関×-× -×		
卒業学校・ 養成所名	霞が関大学		1990年 3月卒	専攻	教育学科	
			年 月 卒	専攻		
職歴	年	月	(記載例A)	年	月	(記載例B)
	90	4	〇〇専門学校教員	90	4	〇〇動物病院
	95	4	△△専門学校教員	95	4	△△動物病院
	00	4	霞が関動物看護スクール教員	00	4	霞が関動物看護スクール教員
	05	4	霞が関動物看護スクール副校 長	18	4	霞が関動物看護専門学校教員
	10	4	霞が関動物看護スクール校 長			
18	4	霞が関動物看護専門学校校 長				
教育歴			(記載例A)	00	4	(記載例B)
			同上	18	4	霞が関動物看護スクール専任 教員として従事 霞が関動物看護専門学校専任 教員として従事
研究発表又は 論文	07	4	動物教育における課題と現状 (雑誌名、巻数)	98	4	小動物診療における補助者につ いて(雑誌名、巻数)
				99	4	骨折に対する新たなアプロ ーチ(第〇回△△学会発表)

(記入上の注意)

- 「職種」については、獣医師である場合には「獣医師」、愛玩動物看護師である場合には「愛玩動物看護師」、同等以上の学識経験を有する者については記入しないこと。
- 研究発表又は論文は、主なものを記入し、1枚にまとめること。

(添付書類)

免許証の写しを添付すること。

記載例

- 養成所の長の氏名・現住所・性別について  
申請書の養成所長の氏名と合わせてください。現住所は、養成所指定申請時に養成所に勤務していない場合、養成所長の現住所を記載してください(既に養成所に勤務している場合においては記載不要)。  
性別については、該当する項目を□で囲んでください。
- 職種、免許登録番号、免許登録年月日について  
獣医師又は愛玩動物看護師である場合のみ記載してください。なお、養成所長が獣医師又は愛玩動物看護師である必要はありません。また、添付書類の免許証については、獣医師又は愛玩動物看護師である場合に限り、獣医師免許又は愛玩動物看護師免許を添付してください。
- 職歴、教育歴、研究発表又は論文について  
原則として職歴及び教育歴は全て記載してください。ただし、1枚に収まりきらない場合は、主なものを記載することで差し支えありません。

(参考様式2 (記載例))

教員 (専任・兼任) に関する調書 (記載例)

		養成所名		霞が関動物看護専門学校 動物看護学科愛玩動物看護 師コース	
氏名	〇〇 ◆◆	現住所	東京都〇〇区〇〇△丁 目△番△号	性別	男・ <input checked="" type="checkbox"/> 女
生年月日	1980年 5月 1日 (41歳)	職種			
免許 登録番号	第 号	免許登録 年月日	年 月 日		
所属 施設名	霞が関動物看護専門学校	所在地	東京都千代田区霞が関×-× -×		
卒業学校・ 養成所名	霞が関大学	2002年 3月卒	専攻	〇〇学科	
		年 月 卒	専攻		
職歴	年 月		年 月		
	02 4	〇〇株式会社			
	05 4	△△専門学校教員			
	10 4	霞が関動物看護スクール教員			
18 4	霞が関動物看護専門学校教員				
教育歴	05 4	△△専門学校教員			
	10 4	霞が関動物看護スクール教員			
	18 4	霞が関動物看護専門学校教員			
研究発表又は 論文		特になし			
担当科目	生命倫理・動物福祉、愛玩動物学、人と動物の関係学				
本人承諾書	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無		所属長承諾書	—	

(記入上の注意) (添付書類) (略)

記載例

- 1 教員の氏名・現住所・性別について  
申請書の教員名と合わせてください。現住所は、養成所指定申請時に養成所に勤務していない場合、教員の現住所を記載してください (既に養成所に勤務している場合においては記載不要)。  
性別については、該当する項目を□で囲んでください。
- 2 職種、免許登録番号、免許登録年月日について  
獣医師又は愛玩動物看護師である場合のみ記載してください。
- 3 職歴、教育歴、研究発表又は論文について  
原則として職歴及び教育歴は全て記載してください。ただし、1枚に収まりきらない場合は、主なものを記載することで差し支えありません。
- 4 所属長の承諾書について  
所属長の承諾書の有無について該当する項目を□で囲んでください。なお、養成所指定申請の際、既に当該養成所の専任又は兼任教員である場合又は無職若しくは自営の場合は、施設長の承諾書は不要としているので、これに当てはまる場合は「—」を記載してください。

(参考様式2 (記載例))

教員 (専任・兼任) に関する調書 (記載例)

		養成所名		霞が関動物看護専門学校 動物看護学科愛玩動物看護師 コース	
氏名	〇〇□□	現住所	東京都〇〇区〇〇△丁 目△番△号	性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男・女
生年月日	1975年 5月 1日 (51歳)	職種	〇〇動物病院獣医師		
免許 登録番号	第00000号	免許登録 年月日	2000年 (平成12年) 4月 1日		
所属 施設名	〇〇動物病院	所在地	東京都〇〇市〇〇△丁目△番 △号		
卒業学校・ 養成所名	〇〇大学 2000年 3月卒		専攻	獣医学科	
	年月卒		専攻		
職歴	年	月			
	00	4	□□動物病院		
	04	4	△△動物病院		
	10	4	〇〇動物病院		
	12	4	××専門学校兼任教員		
21	4	霞が関動物看護専門学校兼任 教員 (予定)			
教育歴	12	4	××専門学校兼任教員		
研究発表又は 論文	09	11	形態に着目した動物看護学 (第〇回〇〇学会発表)		
担当科目	動物内科看護学、動物内科看護学実習				
本人承諾書	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無		所属長承諾書	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	

(記入上の注意) (添付書類) (略)

記載例

- 1 教員の氏名・現住所・性別について  
申請書の教員名と合わせてください。現住所は、養成所指定申請時に養成所に勤務していない場合、教員の現住所を記載してください (既に養成所に勤務している場合においては記載不要)。性別については、該当する項目を□で囲んでください。
- 2 職種、免許登録番号、免許登録年月日について  
獣医師又は愛玩動物看護師である場合のみ記載してください。
- 3 職歴、教育歴、研究発表又は論文について  
原則として職歴及び教育歴は全て記載してください。ただし、1枚に収まりきらない場合は、主なものを記載することで差し支えありません。
- 4 所属長の承諾書について  
所属長の承諾書の有無について該当する項目を□で囲んでください。なお、養成所指定申請の際、既に当該養成所の専任又は兼任教員である場合又は無職若しくは自営の場合は、施設長の承諾書は不要としているので、これに当てはまる場合は「-」を記載してください。

(参考様式3 (記載例:専任教員))

## 承諾書

私は、霞が関動物看護専門学校動物看護学科愛玩動物看護師コースが、愛玩動物看護師法に基づく愛玩動物看護師養成所として指定された場合は、当該施設において専任教員に就任することを承諾します。

1 就任予定年月日 令和4年4月1日  
(平成30年4月から霞が関動物看護専門学校において勤務)

2 資格 免許の種類

免許登録年月日 年 月 日

免許登録番号 第 号

令和4年 〇月 〇日

就任予定年月日より前の日付で承諾書を準備してください。(申請又は開講時点(いずれか早い方)で教員が確保されており、又は確保見込みである必要があります。)

住所 東京都〇〇区〇〇△丁目△番△号

氏名 〇〇 ◆◆

東京都知事 殿

(作成上の注意)

「2 資格」のうち、免許の種類については獣医師である場合には「獣医師」と、愛玩動物看護師である場合には「愛玩動物看護師」と記入し、同等以上の学識経験を有する者については記入しないこと。

### 記載例

- 1 就任予定年月日について  
申請の際現に当該養成所で教員として従事している場合は、その旨記載してください。
- 2 資格について  
獣医師又は愛玩動物看護師である場合のみ記載してください。
- 3 宛名について  
養成所の指定申請書を提出する都道府県知事を記載してください。

(参考様式3 (記載例: 現に別の施設で勤務している者を新たに専任教員とする場合))

## 承諾書

貴養成所が、愛玩動物看護師法に基づく養成所として指定された場合は、下記の者が令和4年4月1日付で貴所の専任教員となることを承諾します。

職名 霞が関大学〇〇学部准教授

氏名 〇〇 ◆◆

令和4年 〇月 〇日

就任予定年月日より前の日付で承諾書を準備してください。(申請又は開講時点(いずれか早い方)で教員が確保されており、又は確保見込みである必要があります。)

所在地 東京都千代田区×-×-×

施設名 霞が関大学〇〇学部

施設長 学部長 〇〇 〇〇

霞が関動物看護専門学校長殿

(作成上の注意)

- 1 原本の写しを提出すること。
- 2 養成所指定申請の際、現に当該養成所の専任教員である場合又は無職若しくは自営の場合は、本人が承諾すれば足り、施設長の承諾書は提出する必要はないこと。

記載例

- 1 就任年月日について  
令和4年4月から法第31条第2号の養成所として、養成所指定規則別表等に対応した授業を開始する場合は、就任年月日を令和4年4月1日としてください。
- 2 職名について  
承諾する施設(専任教員が現に所属している施設)における職名を記載してください。
- 3 所在地、施設名、施設長について  
承諾する施設における専任教員の所属長を記載してください。(例として大学であれば、学長、学部長、学科長その他専任教員の所属長として差し支えありません。)
- 4 宛名について  
養成所長の氏名を記載する必要はなく、養成所長の役職を記載することで差し支えありません。



(参考様式3 (記載例: 兼任教員))

## 承諾書

私は、霞が関動物看護専門学校動物看護学科愛玩動物看護師コースが、愛玩動物看護師法に基づく愛玩動物看護師養成所として指定された場合は、当該施設において兼任教員に就任することを承諾します。

1 就任予定年月日 令和5年4月1日

2 資格 免許の種類 獣医師

免許登録年月日 2000年(平成12年) 4月 1日

免許登録番号 第 00000 号

令和 4 年 ○月 ○日

教員の就任予定年月日が次年度以降であっても、教員が確保されており又は確保見込みである必要があることから、申請の段階で承諾書は必要です。

住所 東京都○○区○○△丁目△番△号

氏名 ○○ □□

東京都知事 殿

(作成上の注意)

「2 資格」のうち、免許の種類については獣医師である場合には「獣医師」と、愛玩動物看護師である場合には「愛玩動物看護師」と記入し、同等以上の学識経験を有する者については記入しないこと。

記載例

- 1 就任予定年月日について  
申請の際現に当該養成所で教員として従事している場合は、その旨記載してください。
- 2 資格について  
獣医師又は愛玩動物看護師である場合のみ記載してください。
- 3 宛名について  
養成所の指定申請書を提出する都道府県知事を記載してください



(参考様式3 (記載例: 現に別の施設で勤務している者を新たに兼任教員とする場合))

## 承諾書

貴養成所が、愛玩動物看護師法に基づく養成所として指定された場合は、下記の者が令和〇年4月1日付で貴所の兼任教員となることを承諾します。

職名 〇〇動物病院 獣医師

氏名 〇〇□□

令和 〇 年 〇 月 〇 日

教員の就任予定年月日が次年度以降であっても、教員が確保されており又は確保見込みである必要があることから、申請の段階で承諾書は必要です。

所在地 東京都〇〇市〇〇△丁目△番△号

施設名 〇〇動物病院

施設長 院長 〇〇 ▽▽

霞が関動物看護専門学校長 殿

(作成上の注意)

- 1 原本の写しを提出すること。
- 2 養成所指定申請の際、現に当該養成所の兼任教員である場合又は無職若しくは自営の場合は、本人が承諾すれば足り、施設長の承諾書は提出する必要はないこと。

記載例

- 1 職名について  
承諾する施設（兼任教員が現に所属している施設）における職名を記載してください。
- 2 所在地、施設名、施設長について  
承諾する施設における兼任教員の所属長の役職及び氏名を記載してください。（例えば、診療施設であれば、院長その他当該兼任教員の所属長として差し支えありません。）
- 3 宛名について  
養成所長の氏名を記載する必要はなく、養成所長の役職を記載することで差し支えありません。

(参考様式4 (記載例))

教員の氏名・担当科目・専任又は兼任の別

専任等区分	職位	年齢	氏名 就任 (予定) 年月	養成所名		霞が関動物看護専門学校 動物看護学科愛玩動物看護師コース			
				担当 授業の 名称	担当授 業時数	現職 (就任年 月)	免許 (登録 番号)	実務経験	
								教育 (年)	臨床 (年)
専任	副校長	55	〇〇〇〇 (令和4年 4月)	生命倫理・ 動物福祉 愛玩動物学 人と動物の 関係学	〇時間 ／週	副校長 (令和〇年 〇月～)	—	25年	—
専任	主任	45	〇〇〇〇 (令和4年 4月)	動物栄養学	〇時間 ／週	主任 (平成〇年 〇月～)	—	10年	—
専任	講師	45	〇〇〇〇 (令和4年 4月)	微生物学 寄生虫学 感染症・免疫 学	〇時間 ／週	講師 (平成〇年 〇月～)	獣医師 (第〇〇 号)	5年	10年
兼任	教員	65	〇〇〇〇 (令和4年 4月)	動物形態機 能学 動物形態機 能学実習	〇時間 ／週	〇〇大学非 常勤講師 (平成〇年 〇月～)	—	30年	—
兼任	教員	55	〇〇〇〇 (令和4年 4月)	動物内科看 護学 動物内科看 護学実習	〇時間 ／週	〇〇動物病 院 (平成〇年 〇月～)	獣医師 (第〇〇 号)	—	30年
兼任	教員	35	〇〇〇〇 (令和5年 4月)	動物生活環 境学	〇時間 ／週	〇〇専門学 校教員 (平成〇年 〇月～)	—	5年	—

記載例

1 専任等区分について

専任教員の場合は「専任」、兼任教員の場合は「兼任」と記載してください。

2 職位について

養成所における職位を記載してください。

3 氏名・就任(予定)年月日について

令和4年4月から養成所指定規則別表等に対応した教育を開始する場合であって、次年度(令和5年度)以降に開講する科目の教員については、就任予定年月日が令和5年度以降であっても差し支えありません。ただし、法第31条第2号の養成所として申請する時点で、専任教員として3名以上が獣医師若しくは愛玩動物看護師又は同等以上の経験を有する者である必要があることに御留意ください。

4 担当授業の名称、担当授業時数

当該教員が担当する授業の科目名称を記載してください。

担当授業時数については、当該教員が通常担当する1週間当たりの授業時数を記載して下さい。1つの科目を複数の教員が担当する場合は、例を参考に授業時数を記載して下さい。

(例1) 週4時間の1科目の授業(講義)を2人の教員がオムニバス方式で受け持つ場合  
→それぞれ週2時間

(例2) 週6時間の実習を常時3人の教員が受け持つ場合  
→それぞれ週6時間

5 現職（就任年月）について

養成所指定申請の際、現に当該養成所で勤務している場合は、養成所名を省略して差し支えありません。

6 免許（登録番号）について

獣医師又は愛玩動物看護師の免許を有している場合、免許の種類及び登録番号を記載してください。獣医師又は愛玩動物看護師の免許を有していない場合は「－」を記載してください。

7 実務経験について

教育又は臨床に携わった年数を記載してください。

(参考様式5 : 記載例)

授業科目の概要

		養成所名	霞が関動物看護専門学校 動物看護学科愛玩動物看護師コース	
養成所指定規則に定める科目名	養成所指定規則に定める時間数	学則に定める授業科目 (注)	学則に定める時間数 (単位数)	概要 (注)
生命倫理・動物福祉	30時間	生命倫理・動物福祉論	30時間 (○単位)	
動物形態機能学	120時間	—	120時間 (○単位)	
		動物形態機能学A	40時間 (○単位)	
		動物形態機能学B	40時間 (○単位)	
		動物形態機能学C	40時間 (○単位)	
動物栄養学	60時間	動物栄養学	60時間 (○単位)	
比較動物学	60時間	—	60時間 (○単位)	
1つの指定科目に対して複数の授業科目が該当する場合 (授業科目を分割して開講する場合)		産業動物学	20時間 (○単位)	産業動物の歴史や品種について学ぶ。
		実験動物学	20時間 (○単位)	実験動物の品種や飼養管理法について学ぶ。
		野生動物学	20時間 (○単位)	野生動物の保護等について学ぶ。
動物看護関連法規	15時間	動物看護、愛護・適正飼養関連法規	30時間 (○単位)	動物看護及び動物の愛護及び適正飼養に関する法規について学ぶ。
動物愛護・適正飼養関連法規	15時間	動物看護、愛護・適正飼養関連法規 (重複)	30時間 (○単位) (重複)	動物看護及び動物の愛護及び適正飼養に関する法規について学ぶ。(重複)
複数の指定科目に1つの授業科目が該当する場合 (授業科目を統合する場合)				
動物看護学概論	30時間	動物看護における職業倫理	30時間 (○単位)	動物看護における愛玩動物看護師の職業倫理等について学ぶ。
動物病理学	30時間	動物病理学	30時間 (○単位)	
動物薬理学	60時間	—	60時間 (○単位)	
		動物薬理学I	30時間 (○単位)	
		動物薬理学II	30時間 (○単位)	

動物感染症学	90時間	—	90時間 (○単位)	
		微生物学	30時間 (○単位)	微生物の分類、検査について学ぶ。
		寄生虫学	30時間 (○単位)	寄生虫の分類、生活環、検査方法、駆虫剤の使用方法を学ぶ。
		感染症・免疫学	30時間 (○単位)	主な感染症の感染経路、予防法・治療法等、感染症対策の基礎について理解する。また、感染防御に関わる免疫学の基礎を学ぶ。
公衆衛生学	60時間	公衆衛生学	60時間 (○単位)	
動物内科看護学	90時間	動物内科看護学	90時間 (○単位)	
動物外科看護学	60時間	動物外科看護学	60時間 (○単位)	
動物臨床看護学総論	30時間	動物臨床看護学総論	30時間 (○単位)	
動物臨床看護学各論	120時間	動物臨床看護学各論	120時間 (○単位)	
動物臨床検査学	30時間	動物臨床検査学	30時間 (○単位)	
動物医療 コミュニケーション	30時間	動物医療コミュニケーション	30時間 (○単位)	
愛玩動物学	60時間	伴侶動物学	60時間 (○単位)	愛玩動物の歴史や品種、使役動物の歴史や役割、適切な使用管理法について学ぶ。
人と動物の関係学	30時間	人と動物の関係学概論	30時間 (○単位)	
適正飼養指導論	60時間	適正飼養指導・動物愛護管理行政論	60時間 (○単位)	
動物生活環境学	30時間	動物生活環境学概論	30時間 (○単位)	
ペット関連産業概論	30時間	ペット関連産業概論	30時間 (○単位)	
動物形態機能学実習	30時間	動物形態機能学実習	30時間 (○単位)	
動物内科看護学実習	120時間	—	120時間 (○単位)	
		動物内科看護学実習 A	40時間 (○単位)	
		動物内科看護学実習 B	40時間 (○単位)	
		動物内科看護学実習 C	40時間 (○単位)	

動物外科看護学実習	90時間	—	120時間 (○単位)	
		動物外科看護学実習 I	40時間 (○単位)	
		動物外科看護学実習 II	40時間 (○単位)	
		動物外科看護学実習 III	40時間 (○単位)	
動物臨床看護学実習	60時間	動物臨床看護学実習	60時間 (○単位)	
動物臨床検査学実習	60時間	動物臨床検査学実習	60時間 (○単位)	
動物愛護・適正 飼養実習	60時間	動物愛護・適正飼養 実習	60時間 (○単位)	
動物看護総合実習	180時間	動物看護総合実習	180時間 (○単位)	

(注) 学則に定める授業科目の名称が、指定規則別表に定める科目の名称と同一である場合には、科目の概要の記載を省略して差し支えない。また、学則に定める科目の名称が、次のいずれかに該当する場合については、指定規則別表に定める科目の名称に該当するものとして取り扱って差し支えない。

ア 科目名の末尾に、「原論」、「(の) 原理」、「総論」、「概論」、「概説」、「論」、「法」、「(の) 方法」及び「学」のうち、いずれかの語句又は複数の語句が加わる場合

イ 科目名の末尾に、「I」、「II」、「A」、「B」等が加わることにより、複数の科目に分割されているが、対応する科目と同等の授業内容である場合

ウ 履修すべき科目名が、授業科目名の中に含まれている場合

## 記載例

### 1 学則に定める授業科目について

学則に記載している授業科目を記載してください。養成所指定規則に定める科目以外の科目（例えば、英語やパソコンスキルなどの一般教養科目）については記載する必要はありません。

### 2 学則に定める時間数（単位数）について

学則に定める時間数(単位数)を記載してください。学則に単位数を定めていない場合には、単位数を記載する必要はありませんが、学則に単位数のみ記載している場合は、時間数に換算して記載してください。また、指定規則に定める時間数より多い時間数の授業を行うことは差し支えありませんが、少ない時間数の場合は養成所の指定基準を満たさないと判断します。

### 3 概要について

(注) で記載しているとおり、学則に定める授業科目（以下、「授業科目」という。）の名称が、指定規則別表に定める科目（以下、「指定科目」という。）の名称と同一の場合には、概要の記載を省略して差し支えありません。授業科目の名称が、指定科目の名称と異なる場合は、概要を記載してください。

4 1つの指定科目に対して複数の授業科目が該当する場合（授業科目を分割して開講する場合）について

授業科目ごとに行を追加し、学則に定める時間数等との対応がわかるように記載してください。最上段には合計の時間数を記載してください。

（例：「比較動物学」に当たる科目として、「産業動物学」、「実験動物学」、「野生動物学」の3科目を開講）

5 複数の指定科目に1つの授業科目が該当する場合（授業科目を統合する場合）について

養成所指定規則に定める科目ごとに授業科目名と学則に定める時間数を記載し、2つ目以降の授業科目の名称及び学則に定める時間数（単位数）の末尾に「(重複)」と記載してください。

（例：「動物看護関連法規」及び「動物愛護・適正飼養関連法規」に当たる科目として、「動物看護、愛護・適正飼養関連法規」を開講）



(参考様式6 (記載例))

## 実習施設承諾書

当施設が、愛玩動物看護師養成所指定規則に規定する臨床実習施設として、霞が関動物看護専門学校動物看護学科愛玩動物看護師コースに対して、下記により臨床実習を担当することについて承諾する。

令和 4年 〇月 〇日

実習施設名 〇〇動物病院

施設所在地 東京都〇〇区〇〇×-×-×

開設者氏名 院長 〇〇 〇〇

霞が関動物看護専門学校長 殿

診療施設の開設者又は診療施設の代表者（院長等）の役職及び氏名を記載してください。

記

実習受入1回当たりの受入人数	2人
実習受入1回当たりの時間数	計 30 時間（約5日間）
年間受入回数	6回
受入開始年月日	令和 4年 10月 1日から

実習施設の主な設備及び保有する機械器具等の状況

- 手術室     エックス線診療室  
 超音波画像診断装置     血液検査用器具     尿検査又は糞便検査用器具  
 検眼用器具     内視鏡     保定用器具  
 その他（ICU設備、MRI装置）

診療施設で有している機器にチェック又は「□」を「■」としてください。（全ての設備を有している必要はありません。）

「その他」には、診療施設で有している主な設備又は機械器具を記載してください。（網羅的に記載する必要はありません。）

(参考様式7 (記載例))

教授用又は実習用機械器具、標本及び模型の目録

品目	数量
聴診器	40個
体温計	40個
注射用具一式	10
手術器具一式	10
顕微鏡	10台
高圧滅菌器	1台
全自動血球計算機	2台
血液生化学検査機器	2台
骨格標本(犬)	2個
骨格標本(猫)	2個
模型(犬)	2台
模型(猫)	2台

<記入要領>

品目については、養成所における講義又は実習で用いる機械器具、標本及び模型について記入すること。

注射用器具、手術用器具については、一式とまとめて記載してください。

(参考様式8 (記載例))

### 図書の目録総括表

種 別	数 量
図 書 (愛玩動物看護師の養成に関するもの)	1,500冊
辞 典 類	100冊
学 術 雑 誌	15種類
そ の 他	1,000冊
合 計	2,600冊 15種類

<記入要領>

各種別の冊数 (雑誌にあっては種類) を記入すること。

所有している図書のリストを提出する必要はありません。